

## 令和5年4月定例記者会見

令和5年4月4日（火）午後1時30分～

### <主な発表項目>

#### ○新年度を迎えて

今年度は、DXの推進をさらに加速させる。

また、認定こども園等の現場との連携を密にし、子育て支援を充実させるため、こども課に保育教諭を1名配置したほか、土木課では、国土強靱化に向けた道路橋梁等の維持管理など多岐にわたる業務に専門性を持って対応するため、現行の2つの係を整理分割し、「建設係」、「施設係」、「維持係」の3係とした。

#### ○「チョイソコとなみ」ウチマチサポーターの募集について

令和5年10月から「チョイソコとなみ」の運行エリアを市内全域に拡大するにあたり、官民連携による持続可能な地域公共交通サービスを目指して、市内事業者等からのスポンサー料（協賛金）を運営資金の一部とする「ウチマチサポーターズ制度」を導入する。

2023年度(令和5年10月1日～令和6年9月30日)サポーターを、4月1日から6月30日まで募集している。(2023年度はお試し期間のためスポンサー料は無料。)

協賛にご協力いただける事業者等には、自社店舗・施設などにチョイソコ停留所を設置できる権利などの特典がある。

#### ○「となみチューリップフェア」商標登録について

「となみチューリップフェア」の3名称が商標登録された。

日本一のチューリップ球根産地ならではのイベントとして、官民一体となり取り組んできたこれまでの歴史や規模、全国的な知名度等が認められたものである。登録することで、社会的信用の確立とブランドイメージの向上、名称の乱用防止などの効果が期待できる。

登録日の3月14日以降に発行する公式刊行物（ガイドブック）等では、となみチューリップフェアが登録商標であることを示す<sup>®</sup>を表示していく

#### ○2023となみチューリップフェアについて

日時指定入場を今回は実施しない。また、マスクの着用についても政府の指針に準拠し、お客様個人の判断にゆだねる。ただし、基本的な感染防止対策として、入場時の検温や手指消毒については引き続き実施し、運営スタッフについては、業務の性質上、マスクの着用を基本とする。

ビュースポットは、立山連峰、チューリップタワー、大花壇、円形花壇の4つの絶景が一度に楽しめるようになったパノラマテラスからの眺望。また、新スポットとして、美術館北側の並木通りに「バブルスカイ」として色とりどりのバルーンを設置し、地上のチューリップと空中のカラフルなバルーンでテーマにもある色彩に包まれるような体験を提供できればと考えている。

スマートフォンの普及に伴う新たなサービスとして、AR技術を使ったフェア限定のフォトフレームを提供する。お客様にはフェア来場の記念となる特別な写真を会場内のお好きな場所で撮影いただけるようにする。ぜひ、多くの方にお楽しみいただきたい。

砺波市と台湾はチューリップ球根を通じた様々な交流を続けており、チューリップがつなぐ台湾との交流を更に深めていくため、フェア期間中の5月2日(火)に、駐日代表、駐大阪弁事処長を招待し、台湾交流セレモニーを行う予定。この日にあわせて、台湾から「艋舺青山宮の獅子舞演舞」もご披露いただくことで調整を行っている。

また、4月27日（木）から5月1日（月）まで、士林官邸公園の関係者7名に今回初めて訪問いただく。これまで6年間連携してきたが、チューリップフェアの会場のほか、富山県花卉球根農業協同組合や球根生産圃場等を視察され、今後の士林官邸公園の協力連携の強化、球根のさらなる販売強化等について、市担当、フェア担当、県花卉球根農業協同組合担当等、チューリップ生産栽培関係者と意見交換を行う。